

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

| | | | | |
|--------|-----------|-------|----|--------------|
| 記入年月日 | | | | |
| 平成15年度 | 事業コード | 31430 | 電話 | 042-769-8236 |
| 担当部課名 | 経済部 | 商業観光 | 課 | 商業振興 班 |
| 事務事業名 | 子ども商業体験事業 | | | |

1 総合計画における位置づけ

| | | | |
|-------|------|----------------------|--------|
| 政策名 | 第1章 | 立地特性を生かした産業の振興をめざします | 事業開始年度 |
| 基本施策名 | 第4節 | 商業・サービス業の振興 | 14年度 |
| 施策名 | 第3施策 | 高感度な商業・サービス業の集積 | |

2 実施根拠及び関連法令等

| |
|--|
| |
|--|

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

義務的経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

あり

7 事業概要

| | | | |
|--|-----|------------|----|
| (1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか | | (2)対象(誰、何) | |
| 子ども達に「会社設立から決算」までのプロセスを疑似体験させる企業家トレーニングを行うことにより、子どもが本来持っている起業家精神を刺激し発揮させ、近い将来、本市から産業を支える起業家を一人でも多く輩出し、もって産業の活性化に資すること。 | | 小・中学生 | |
| | | 対象数 | 48 |
| (3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容 | | | |
| 「さがみはら子どもアントレプレナー体験事業実行委員会」に対して2,750千円を補助。 | | | |
| 受益者負担額 計560,000円 ・小学生参加者 10,000円×32名=320,000円 ・中学生参加者 15,000円×16名=240,000円 | | | |
| (4)個別計画の概要 | | 概要 | |
| 計画名 | | | |
| 計画年次 | 年度～ | 年度 | |

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

| 成果指標 | 指標名 | 指標式 | 指標設定の意図 | 指標の推移(年度) | | | | |
|------|------------------|----------------------------|--------------------|-----------|----|----|-----|-----|
| | | | | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 成果指標 | 販売行為に対する興味関心率(%) | 販売活動を楽しんだ参加者(人)/参加者(人)×100 | 起業家精神の萌芽状況を測るため | | | 75 | 80 | 80 |
| 活動指標 | 受講希望率(%) | 受講希望者(人)÷受講定員(人)×100 | 本事業の認知度及びニーズ度を測るため | | | 97 | 120 | 120 |

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

| 事業費 | | 平成12年度 | 平成13年度 | 平成14年度 | 平成15年度 | 平成16年度 |
|-----|------------|---------|---------|--------|--------|---------|
| | | 決算 | 決算 | 決算 | 予算 | 予算(見込み) |
| | 決算(予算)額 | | | 2,750 | 2,750 | 2,750 |
| | 人員・時間数 | | | 3人・17日 | 3人・15日 | 3人・15人 |
| | 人件費 | | | 1,591 | 1,404 | 1,404 |
| | その他経費 | | | | | |
| | 合計 | 0 | 0 | 4,341 | 4,154 | 4,154 |
| | 特定財源 | | | 2,750 | 2,750 | 2,750 |
| | 対象数 | | | 48 | 60 | 60 |
| | 対象の単位あたり経費 | #DIV/0! | #DIV/0! | 90.4 | 69.2 | 69.2 |

10 個別評価

| | | | |
|---|--|---------------------|---|
| (1)達成度 評価 A ▼ | A : 達成している | チェック項目 | ・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 |
| | B : 一部達成していない | | ・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 |
| | C : 達成していない | | ・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 |
| | | 説明 | 受講者が小中学生であり、「起業者の輩出」という具体的な成果は短期的に達成される性格のものではない。他方、子どもによって程度の差はあるが、子ども達の起業家精神を喚起することができている。 |
| (2)必要性 評価 A ▼ | A : 適応している | チェック項目 | <input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている |
| | B : 一部適応していない | | <input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している |
| | C : 適応していない | | <input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない |
| | | 説明 | <input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 産業振興を進めていく上では、新規創業の促進が有効であり、本市では、チャレンジショップ制度やさがみはら産業創造センターの設置等を進めている。将来的に、より効果を発揮させるには、様々な世代(特に若い世代)に応じた支援策が必要。 |
| (3)有効性 評価 A ▼ | A : 有効である | チェック項目 | <input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である |
| | B : 一部有効でない | | <input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている |
| | C : 有効ではない | | |
| | | 説明 | 早い時期に子どもが本来持っている起業家精神を刺激し発揮させるためには、疑似体験を通じた起業家トレーニングが効果的といわれており、こうした動きが全国的に始まっている。 |
| (4)効率性 評価 B ▼ | A : 優れている | チェック項目 | <input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている |
| | B : 一部改善の余地がある | | <input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている |
| | C : 改善の余地がある | | <input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている |
| | | 説明 | <input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 本事業の趣旨に賛同する企業者等からの協賛金や現物支給等を募った中で、最小限のコストで事業実施している。 |
| (5)公平性 評価 A ▼ | A : 公平である | チェック項目 | <input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である |
| | B : 一部公平でない | | <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である |
| | C : 公平でない | | <input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している) |
| | | 説明 | 個人の「起業家精神」を刺激し発揮させるには、早い時期(小・中学生の段階)でトレーニングを行うことが効果的であるため、参加者を小中学生に限定している。なお、受講者においては受益者負担(小学生1万円、中学生1.5万円)していただく |
| 成果向上の余地 | | 事業費削減のために取り得る手段と削減額 | |
| <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない | 説明: 事業規模から参加者数が限定されてしまっている。小中学生の教育カリキュラムである「総合的な学習の時間(総合学習)」で本事業を採用することにより、事業の拡大や受益者の増大が図られる可能性がある。 | 手段 | ・小学生対象事業と中学生対象事業の開催時期を集中させ、参加者募集告知を同時に行うことにより、宣伝費用の削減を図る。 ・トレーナー人数の削減 |
| | | 削減額 | 259 千円 |

11 総合評価

| | | |
|-------------------------------------|--------|---|
| 評価 | AAA ▼ | 他自治体の類似事業との比較 |
| 今後の進め方 | | |
| <input type="checkbox"/> | 継続 | |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 見直し | 総合評価に関する説明 |
| <input type="checkbox"/> | 廃止 | 事業実施後のアンケート結果からも、保護者の本事業に対する評価は高く(Q.次回以降も本事業へ参加させたいか? A.是非参加させたい。68%)、事業継続が期待されている事業である。 |
| <input type="checkbox"/> | 完了・廃止済 | また、起業家育成、産業活性化という経済部として取り組む一面とともに、人材育成教育という教育委員会の事業として取り組む側面もあることから、今後、3年以内に、総合学習の一環として教育委員会への移行等を含めた事業実施の方向性を検討していく。 |

12 二次評価コメント

| |
|------------------------|
| 教育委員会「総合学習」への移管を検討すること |
|------------------------|